

オクガタギセル *Megalophaedusa dorcas* (Pilsbry)

【選定理由】

「愛知県の陸貝相」(天野, 1966)に「ドルカキセル? 三河小馬山」と記録され、天野氏の死後、小馬山の位置が不明で不明種とされていたが、豊田市(旧旭町)駒山小馬寺と判明した。その後、豊根、段戸山、稲武、面ノ木、和市、新城市(旧鳳来町)名号と生息地が発見されたが、近年の自然林の減少に伴い急速に生息地を減少させている。

【形態】

殻はやや細長く、殻高 35 mm、殻径 6.5 mm、11 1/2 層、主襞は長い、上腔襞より下腔襞はわずかに短い。殻表に線状があり、殻口はやや広い。



左: 豊根村三沢, 1989年5月5日, 右: 設楽町段戸山裏谷, 2005年10月21日, 木村昭一採集

【分布の概要】

県内では前述のように北設山岳地帯に点々と分布する。県外では石川県白山から関東の山岳地帯に分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

山地の沢や河川の岸など湿度の高い落葉下に生息する。

【現在の生息状況／減少の要因】

新城市(旧鳳来町)名号では道路拡張工事で絶滅したものと考えられ、他の産地でも著しく減少している。

【保全上の留意点】

生息確認地を中心とした樹林や沢筋の保全に留意する。また、採取の防止に努める。

【特記事項】

県内は本種の分布南限に当たる。

【関連文献】

- 天野景従, 1966. 愛知県の陸貝相. 東海高校研究紀要 4: 6.
豊根の動物調査委員会, 1980. 貝類. 愛知県豊根村の動物, p.116. 豊根村.
野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物, p.29. 愛知県郷土資料刊行会.
三河野生動物研究会, 1993. 鳳来町のオクガタギセルガイ. 三河の野生物 No.2.
木村昭一・中根吉夫, 1996. 稲武町の軟体動物. 稲武町史・自然・資料篇, pp.119-126. 稲武町.
中根吉夫・木村昭一, 1996. 設楽町の軟体動物. 設楽町誌『自然編』『資料編』, pp.225-234. 設楽町.
名古屋貝類談話会, 1979. ご機げんいかが愛知の陸貝. 駒山の小馬寺. かきつばた, 5.
名古屋貝類談話会, 1990. 東海地方の貝類現状調査報告書(17)駒山. かきつばた, 16.
東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, p.69. 保育社.

(2009年版(原田)を一部修正)